

令和4年度

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

事業報告書

大阪府中央区上町A番7号

公益財団法人大槻能楽堂

令和4年度事業報告

I 事業の状況

当能楽堂は、世界無形文化遺産である我が国の舞台芸術「能楽」を広く一般に公開し、伝統芸能の振興及び文化・芸術の普及に寄与するため、当法人が企画した公演等上演し、また、所有する能舞台等を貸与する活動を行っております。

本年度は、新型コロナウイルスによる影響が少し緩和された一年となりました。自主公演能は一度も中止や延期することもなく、貸公演も少数の延期のみでした。コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援については、継続されたものもあり、その支援による公演、貸公演の増加等がありました。

本年度実施した事業内容は以下のとおりです。

1. 伝統芸能「能楽」の振興と普及のため、自主公演能等上演し、広く国民一般への理解に資する事業

(1) 自主公演能事業

能の魅力を探るシリーズ（年6回実施）

毎年テーマを定めてお送りする 能の魅力を探るシリーズ。今年度のテーマは「大槻文蔵と読み解く能の名曲六選」にて実施いたしました。

能と対談を基本とし、数公演に狂言を組み込み、対談では、これ迄と趣向を変え、大槻文蔵が能楽研究者の天野文雄氏、演劇評論家の村上湛氏を交互にお迎えし、作品、作者、時代背景、また使用する面、装束、演出などを御紹介し、これまで以上に能の魅力を引き出し、より深く知っていただきました。

新しいお客様から能楽愛好者の方まで、幅広いお客様に楽しんでいただける公演として、開催いたしました。

開催日	演目	小書	シテ	対談
2022年4月23日	狂言 昆布売		善竹忠重	村上湛 大槻文蔵
	能 通小町		梅若万三郎	
2022年6月25日	狂言 薩摩守		茂山忠三郎	天野文雄 大槻文蔵
	能 三山		武富康之	

2022年8月27日	狂言 二千石		茂山七五三	村上湛 大槻文藏
	能 楊貴妃	干之掛 台留	浅井文義	
2022年11月26日	能 清経	恋之音取	上野雄三	天野文雄 大槻文藏
2022年12月17日	狂言 金藤左衛門		善竹隆平	村上湛 大槻文藏
	能 阿漕		友枝昭世	
2023年2月23日	能 玄象	替之型 早装束 窈	観世清和	天野文雄 大槻文藏

企画公演 復曲再演の会（全1回）

能は700年近い歴史の間に、約2000曲以上の作品が創られてきましたが、現在上演している多くは室町時代に創られた250曲ほどです。

舞台芸術は様々な役者達が色々な角度から能を見つめ、永年に亘り再演を試み、曲が練り上げられていくもので、現代の観客の方々に作品や伝統継承の魅力を伝えるべく開催いたしました。

開催日	演目	シテ・講師
2022年5月28日	お話「崇徳院の執念」	大森亮尚
	復曲能 松山天狗	赤松禎友

特別公演 ナイトシアター ろうそく能（全1回）

毎年恒例のろうそくに火がともされた空間で能を鑑賞いただく人気公演。近年は他芸能ジャンルとのコラボ企画で開催。本年は、人間国宝に認定されました文楽の桐竹勘十郎氏をお迎えし、文楽「義経千本桜 二段目」と能「碓潜（いかりかずき）禅鳳による」にて、戦の無情さを、人形と能で表現しました。

ろうそくの炎のもと、平家の終焉を堪能していただき、新しい観客層の確保につながる公演となるべく開催いたしました。

開催日	演目	小書	シテ等
2022年7月8日	文楽 義経千本桜 二段目		桐竹勘十郎
	能 碓潜	禅鳳本による	大槻文藏

特別公演 至芸を観る（全1回）

能楽の一流一派に取らわれず、人間国宝や名人名手を招聘し、すぐれた技芸を観る機会を創出する企画。能楽の見巧者だけではなく、初めて能楽を鑑賞する方にも関西の地に於いて、能楽の至芸を観ていただく公演を開催いたしました。

開催日	演目	シテ・講師
2022年9月23日	お話「老いらくの恋」	中西進
	狂言 富士松	野村萬
	能 恋重荷	観世鍊之丞

特別公演七〇〇回記念公演（全1回）

多くの皆さまの御支援を賜り、続けさせて頂いております自主公演能は、この回で七〇〇回を迎えました。歴史ある公演であることをアピールし、これからもご支援賜れるよう、七〇〇回記念公演に、相応しい能・狂言を上演しました。

身近な地域の拠点劇場として、また文化発信の場として、大阪城・上町エリアの活性化、周辺の歴史的風致と一体となった魅力の普及・啓発に取り組む公演として開催いたしました。

開催日	演目	小書	シテ
2022年10月22日	能 三輪	白式神神楽	大槻文藏
	狂言 見物左衛門	深草祭	野村万作
	半能 石橋	大獅子	齊藤信隆 齊藤信輔

新春能（全2回）

例年1月3日と4日に行われる新春能。関東、関西の能楽界を代表する名人が一挙に集い、新年を迎える目出度さを祝う二日間連続公演にて開催いたしました。

恒例の「翁」にて天下泰平五穀豊穰を舞台で祈り、3日と4日で異なる流派の狂言、その他にも新春にふさわしい演目にて、名人達の至芸を存分に鑑賞していただく2日間となりました。周辺地域にも認知頂いており、地域の活性化や、東西の能楽界第一線で活躍する能楽師を迎え、能楽界全体の活性化を促すべく開催いたしました。

開催日	演目	小書	シテ
2023年1月3日	翁		片山九郎右衛門 茂山逸平
	狂言 鎧		茂山千五郎
	能 猩々乱	双乃舞 置壺	上田拓司 浦田保親
2023年1月4日	翁		観世喜正 野村萬斎
	狂言 財宝		野村万作
	能 鶴亀		梅若桜雪

企画公演 次世代が挑む（全1公演）

次世代を担う若手演者を中心とした企画として開催いたしました。

当能楽堂は、設立当初より日本の古典芸能の粋を披露することを使命として活動してきました。そのため、熟練の演者による公演が多いです。若手育成、プロデュースも使命であると考え、後継者の育成を基本・基礎とした上で、継続性、伝承の確実性を重視し、次世代を受け持つ若手能楽師の発展と発表の機会を創出し、魅力を伝え、若い世代の観客確保につながる公演として開催いたしました。

開催日	演目	小書	シテ
2023年3月21日	狂言 節分		野村裕基
	能 熊野		大槻裕一

インターネット能楽公演

大槻能楽堂自主公演能（特別版）を令和5年度もコロナ渦から完全に脱却できていない状況でありましたので、継続し配信いたしました。

YouTubeの大槻能楽堂チャンネルは4240人の登録者となりました。

（2）学生鑑賞能事業

小・中・高校生を対象に能楽鑑賞のほか、ワークショップ・体験教室などを併せ、本年度は5公演行いました。

（大阪教育大付属天王寺校舎・清教学園高等学校・清明中学校修学旅行WS
・玉造小学校・明星大学）

（3）委託公演能事業

1、篠山春日能

自治体等が開催している国指定重要文化財である春日神社能舞台で催す恒例の篠山春日能（4月9日 能「二人静」大槻文藏 大槻裕一 能「天鼓」観世鍬之丞・狂言「仏師」茂山千五郎）公演を請負、より多くの方に伝統芸術に触れる機会を提供しました。

2、有馬能楽堂 能・狂言公演

有馬能楽堂で催す恒例の公演を下記の通り計2公演を請負い開催しました。

9月3日 能「天鼓」大槻文藏

10月11日 狂言「蚊相撲」高野和憲 狂言「隠狸」野村萬斎

3、三田屋本店心齋橋パルコ店 狂言公演

三田屋心齋橋店内の舞台にて、下記1公演を請負、開催しました。

11月8日 狂言「鐘の音」野村萬斎

4、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」

子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業に、本年度も文化庁より採択いただきました。

事前にワークショップを行い、本公演には半能「安達原」を上演し、合計8校にて実施しました。

5、その他、下記公演等の委託を受託開催しました。

・熱海座 マルタ・アルゲリッチ&人間国宝大槻文蔵スペシャル公演

バッハ・パルティータ×能舞の饗宴

・雅楽と能楽—未来へつなぐ和の心—

8月8日(月)新作能「聖徳太子」大槻文蔵

・第31回四日市能

11月3日(木) 舞囃子「三山」大槻文蔵・大槻裕一 狂言「二人袴」野村萬斎
能「葵上」大槻文蔵

・秋の謡会 2023

11月5日(土) 半能「石橋 大獅子」大槻文蔵 大槻裕一

11月6日(日) 能「安達原 黒頭」大槻裕一

・銀座余情 能と狂言

11月19日(土) 能「山姥 長杖之伝」大槻文蔵

・第43回世界遺産劇場

12月8日(日) 能「自然居士」古演出 大槻文蔵

・日本全国 能楽キャラバン! 「大槻文蔵が舞ふ!」

(文化庁:大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業)

12月24日(土) 復曲能「巴園」大槻文蔵 狂言「千鳥」善竹隆司

1月28日(土) 新作能「蛙ヶ沼」大槻文蔵 お話 村上湛

・狂言風オペラ 2023 フィガロの結婚 全2公演

3月10日(金) 大阪(大槻能楽堂)

3月12日(日) 東京(観世能楽堂)

上記のように今年度はコロナ禍が少し緩和したことにより、伝統芸能の振興、文化・芸術の普及の為、公演を請負、伝統芸能に触れる機会を提供しました。

(4) 見学・体験教室事業

謡曲教室事業を、大阪府教職員互助組合の退職員を対象に年3回（4月～6月、10月～12月、1月～3月、7月～9月は初回のみ実施し、あとは中止となった）当能楽堂内にて実施しました。

見学・体験プログラム（能舞台見学・能楽解説・楽屋案内等）を導入し、より一層多くの方々が能楽に触れることができる機会を創出しました。

2. 伝統芸能の振興及び普及を目的とする団体などに施設及び装束等を提供する事業

(1) 能楽堂施設の貸与

伝統芸能「能楽」の振興及び普及を図るため、これを目的とする活動を行う団体や個人（この目的に賛同するものを含む。）に対して当能楽堂が所有する能楽堂を貸与しました。

能楽の公演会場として年間57件、稽古場として年間237回、その他会議室等として34回貸与しました。

また能楽の公演に限ることなく、日本の様々な芸能の祖である能の本拠地「能舞台」を使用することでそのルーツを認識し、特色を活かせる芸能活動に対しても9件貸与しました。

(2) 能面・能装束及び作り物の貸与

当能楽堂が保有している能面・能装束及び作り物を、能楽を上演する主催者に貸与しました。

3. その他

・能楽の魅力を発信する体験型コンテンツの創出事業

令和4年度文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）において制作した、先端技術を用いた能楽の多言語解説や演能体験コンテンツをブラッシュアップし、コンテンツを創出いたしました。

楽しみながら能楽への理解を深めていただける体験型の上質な観光コンテンツを、連携先の大阪観光局の協力のもと、作成したコンテンツのPR活動、マーケティングリサーチ、販路の確保を行いました。

(1) 能楽解説の日英音声ガイドサービス

(2) 能楽エデュケーショナルプログラム

(3) 能楽スペシャル体験プログラム

以上

II 理事会・評議員会

令和4年6月7日 令和4年度第1回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和3年度事業報告・計算書類等及び財産目録の承認について
2、第12回定時評議員会の招集について

報告事項 1、大槻能楽堂改修工事についてのご報告
2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名欠席0名 監事出席2名
オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和4年6月24日 第12回定時評議員会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和3年度計算書類等及び財産目録の承認について

報告事項 1、令和3年度事業報告及びその附属明細書の内容報告について
2、大槻能楽堂改修工事について

出席等 決議に必要な出席評議員の数6名、出席8名欠席3名 監事出席2名
理事出席 2名
オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和4年9月1日 令和4年度第2回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、令和5年度自主公演能について
2、地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業について

報告事項 1、職務執行報告
2、大槻能楽堂改修工事について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名欠席0名 監事出席1名欠席1名
オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和4年12月7日 令和4年度第3回通常理事会

決議事項 1、令和4年度中間決算について
2、令和4年度 事業計画書の変更について
3、令和4年度 事業予算書の変更について
4、公益認定事業（謡曲・仕舞教室事業）の変更について
5、看板商品の創出事業（観光庁支援事業）の資金調達について
6、令和5年度自主公演能について

報告事項 1、大槻能楽堂改修工事についてのご報告

2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名欠席0名 監事出席1名欠席1名

オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

令和5年3月8日 令和4年度第4回通常理事会

開催場所 大槻能楽堂

決議事項 1、大槻能楽堂使用規程改定について

2、令和5年度事業計画書(案)の承認について

3、令和5年度収支予算書(案)の承認について

4、評議員選定委員について

報告事項 1、大槻能楽堂改修工事についての報告

2、職務執行報告

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席8名欠席1名 監事出席2名

オブザーバー出席 顧問会計事務所出席1名 事務局出席2名

Ⅲ 附属明細書

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人大槻能楽堂